

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 財務委員会
2020 年活動報告

財務委員会では、学会活動に必要な事業、活動への予算編成と会計報告を行っています。今年度の委員会はまだ開催されていませんが、COVID-19 による収入・支出への影響も予想され、秋には委員会を開催し、今年度前半の会計状況を集計・分析や、適切な予算修正を行う予定です。

理事会への報告および承認事項

1. 地方研究会、講習会への助成金

今年度、地域研究会や講習会の開催の中止が相次いでいるが、他の事業への支出や、会場のキャンセル料などもあると考え、予定通り補助金を支出している。

2. ストーマリハビリテーション講習会 40 周年記念誌への援助に関して

今年度、ストーマリハビリテーション講習会は 40 周年を迎え、講習会委員会より記念誌の発行が企画されている。他の主催学会（大腸肛門病学会）および協賛学会（日本看護協会、日本泌尿器科学会）との調整が必要だが、可能なら JSSCR 誌の特別号として紙媒体での記念誌刊行を刊行したい。

3. 認定施設の新規申請料・更新料

今年 2 月の総会時、評議委員会で、「認定施設の申請料・更新料について無料にして認定施設を増やしてはどうか」との提案があった。今年度、COVID-19 の感染対応等により各病院の経営状態はかなり悪化しており、（診療報酬上メリットのない）施設更新申請をできない（しない）病院も増加すると思われる。認定施設に対する申請料・更新料を今後どうするかは、専門制度委員会での検討項目になるが、少なくとも今年度（あるいは今後数年）の施設更新料の猶予を考えたい。